

四国圏の現状と課題

■社会の潮流

- ①急激な人口減少・少子化、そして異次元の高齢化の進展
- ②巨大災害・環境問題等の安全に対するリスク・不安の増大
- ③高度な産業技術化・ICTの劇的な進歩など技術革新の進展
- ④産業・雇用構造の変化と地域間競争の激化
- ⑤広域交流の拡大・グローバル化の進展
- ⑥価値観・ライフスタイルの多様化と心の豊かさの重視
- ⑦「共助社会づくり」の拡大・多様化



国土形成計画(全国計画)中間とりまとめ
(令和4年7月15日公表)

■国土の課題

- ・人口減少・少子高齢化への対応
- ・巨大災害リスクへの対応
- ・気候変動への対応(CNの実現)
- ・東京一極集中の是正
- ・地方の暮らしに不可欠な諸機能の確保
- ・国際競争力の強化
- ・エネルギー・食料の安定供給
- ・新しい資本主義の体現
- ・デジタル田園都市国家構想の実現

■四国圏の特徴

【強み】

- ①美しい自然風景、独自の歴史・文化の存在
- ②多様な地域の存在と相互の地理的な近さ・交流の可能性
- ③確かな力ある産業の存在(グローバルニッチ企業)
- ④個性のある一次産業、食等の存在
- ⑤人材育成活動の活発化
- ⑥豊かな暮らしを支える環境
(高い水準の人口当たり病院数・介護施設数など)
- ⑦多様な働き方・暮らし方
(女性活躍・サテライトオフィスなど)

【弱み】

- ①厳しい地勢・巨大地震や気候変動による自然災害のリスク
- ②産業・企業集積の不十分さ、高い物流コストや中小企業ウエイト
- ③社会経済面・生活利便性面の格差(地域間の医療体制など)
- ④不十分なインフラの整備と既存インフラの老朽化
- ⑤四国圏内外との連携・交流の弱さ
(人流・物流、観光交流など)
- ⑥人口減少・少子高齢化の進展
(特に中山間地域・島しょ部、空き家・耕作放棄地の増加など)
- ⑦デジタル環境の地域格差

現行計画

課題

- ①南海トラフ巨大地震に対する安全・安心の確保
- ②近年の気候変動により激化する自然災害への備え
- ③急速に老朽化を迎える社会インフラの維持・管理・更新
- ④少子化対策及び女性・若者・高齢者の社会参画
- ⑤地域産業の活性化
- ⑥魅力ある地域づくり
- ⑦四国の魅力・豊富な地域資源を活かした観光活性化
- ⑧圏域内外との交流を促進し対流を促す結びつきの強化

基本方針の考え方

- ・多種多様な地域資源の存在
(自然風景、歴史・文化、芸術、産業、食等)
- ・「癒やし」や「お接待」、「おもてなし」の遍路文化
- ・瀬戸内海の島々の自然、文化、芸術、食を活用した連携交流
- ・ICTを活用した先進的な取組
- ・高機能素材メーカーやグローバルニッチ企業の集積
- ・四国に住み続けたい、四国に行ってみたい・住んでみたいと思える四国圏の創出
- ・地域間が双方向に連携、対流するで、地域の活力向上とイノベーションの創出を促進



新たな計画で検討すべき課題・方向性

- ・産業・交通・生活・防災など全方面での**デジタル化**の推進
- ・民の力を最大限発揮する**官民共創**
- ・**地域生活圏**の構築、機能充実
- ・**関係人口**の拡大・深化、**女性活躍**の促進
- ・**新型コロナ**による「新しい生活様式」の加速、
地域経済への影響最小化
- ・**スーパーメガリージョン**形成効果の四国圏への波及
- ・社会全般への**新技術**の実装
- ・**巨大災害**のリスク軽減、産業再配置
- ・**カーボンニュートラル**実現に向けた産業構造の転換

国土形成計画(全国計画)中間とりまとめ
(令和4年7月15日公表)

■重点化する方向

- ・地域生活圏
地域の関係者がデジタルを活用して自らデザインする新たな生活圏
- ・スーパー・メガリージョンの進化
多様なニーズに応じあらゆる暮らし方と経済活動を可能にする世界唯一の新たな大都市圏
- ・令和の産業再配置
産業の構造転換・再配置により、機能を補完しあう国土
- ・国土の適正な利用・管理
住民自らが話し合い官のサポートで人口減少下の適正な土地の利用・管理の方向性を示す管理構想の推進方策を強化して全国展開